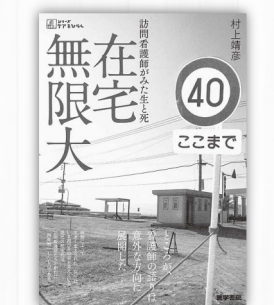




**強みと弱みからみた
在宅看護過程
+ 総合的機能関連図**

河野あゆみ 編集
草場鉄周 編集協力
本体 3800 円 + 税
医学書院

在宅療養者と家族を総合的に捉えるために、「疾患・医療ケア」「活動」「環境」「理解・意向」の4領域からアセスメント。実習でしばしば出会う健康障害のほか、在宅で特に重要となる心理・社会的課題を解説し、それぞれの項目で「典型例」を取り上げて看護過程の展開を解説した。



**《シリーズ ケアをひろく》
在宅無限大
訪問看護師がみた生と死**

村上靖彦 著
本体 2000 円 + 税
医学書院

病院によって大きく変えられた「死」は、いま再びその姿を変えている。現在の在宅死は、先端医療が組み込まれた「家」という未曾有の環境で、訪問看護師たちが地道に「再発明」したものである。訪問看護師の語りを生け捕りにし、看護が本来持っているポテンシャルを言語化した1冊。



**在宅医療カレッジ
地域共生社会を支える
多職種の学び 21 講**

佐々木淳 編集
本体 2000 円 + 税
医学書院

首都圏最大級の在宅医療ネットワーク医療法人社団悠翔会が提供する、医療・介護の多職種のための学びのプラットフォーム「在宅医療カレッジ」。多方面で活躍するトップランナーが「教授」として登壇し、満員続きの人気講義を精選して再現！ [2015~2017 年開催分]



**「家に帰りたい」
「家で最期まで」をかなえる
看護の意味をさがして**

藤田愛 著
本体 2300 円 + 税
医学書院

訪問看護ステーション立ち上げから20年、看護師として働き始めてから27年の著者がつづる、多くの患者・家族との出会いと別れ。「家に帰りたい」「家で最期まで」をかなえるために奮闘してきた著者の実践は、読者に感動と勇気を与える。在宅ケアに携わる全ての職種の人にお薦めの書。



**赤ちゃんはできる！
幸せの排泄コミュニケーション
「おむつに頼りすぎない育児」という選択**

和田智代 著
本体 1600 円 + 税
言叢社

深刻化する子どもの排泄トラブルを論じた上で、おむつに頼りすぎない育児法を具体的に紹介。加えて、生涯にわたる「気持ちよい排泄」について考える。排泄のお世話の歴史や、「おむつなし育児」を実践した親子8組のインタビューも収録。



**看護的思考の探究
「医療の不確実性」と
プラグマティズム**

吉浜文洋 著
本体 3000 円 + 税
ゆみる出版

看護過程の基礎となる考え方に焦点を当て、科学的問題解決法、思考過程の道筋とはどのようなプロセスなのかをめぐる議論を展開。デューイ、ショーンのプラグマティズム哲学を援用して、マニュアルでは対応できない場面で発揮される省察的実践者の看護的思考とは何かを探る。